

試合中におけるグラウンド整備について

【現 状】

- ・現在、大会中のイニング間のグラウンド整備については、一般の大会では5回終了後、少年は4回終了後、学童は3回終了後にそれぞれ、バッターボックスの整地とラインの引き直しのみとなっている。

【要望事項について】

- ・アスリート委員会としては、バッターボックスの整地とラインの引き直しを行っている最中に、内野インフィールド内の整地も併せて実施していただきたい。

【理 由】

- ・特に1日3試合を行う大会においては、2試合目、3試合目になるとグラウンドが荒れてしまいイレギュラーの可能性が高まり、選手の怪我の恐れや試合の勝敗に大きく影響するプレーに繋がる可能性がある。

【実施対象大会】

- ・各種大会で実施(全国大会、ブロック大会、都道府県大会など)

【整備方法について】

- ・コートブラシ(テニスコートなどを整備するブラシ)にて、2名~3名程度で内野地域内を整備することを推奨する。

ただし、コートブラシが無い場合は、整備用トンボやレーキなどを使用して行うこと。

【指示内容の対比について】

※全国大会派遣役員手引き(参考：一般(大人)大会の抜粋)

旧	新
(6)グラウンド整備について ①グラウンド整備は、全てのノック終了後に行う。(5分以内) ②5回終了時の整備は、バッターボックスのライン修正のみとする。 ③1日3試合以上行う場合、試合間の散水は行わない。(ダブルヘッダー3試合の場合は適宜)	(6)グラウンド整備について ①グラウンド整備は、全てのノック終了後に行う。(5分以内) ②5回終了時の整備は、バッターボックスのライン修正 および内野地域の整備を行うこと。 ③1日3試合以上行う場合、試合間の散水は行わない。(ダブルヘッダー3試合の場合は適宜)

以上